



産婦人科棟

小児科棟

妊娠とお子さんのアレルギー性疾患の関係について、野村先生にお伺いしました。

Q1. アレルギー性疾患とはなんですか？

我々には、細菌やウイルス、がん細胞などから自分を守ろうとする「免疫」という重要なしくみがあります。この防御を担当する免疫細胞が、必ずしも有害でない異物（花粉や食物）や正常な細胞を排除しようと、過剰な反応が起こることによりアレルギー性疾患が発症します。反応の程度は人によって異なり、反応の起こる場所やアレルゲンと呼ばれるアレルギーの原因物質によって、病気の名前が変わりますが、代表的なものは、アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息、花粉症などです。近年日本では増加傾向にあり、乳児の約10%に食物アレルギー、学童の3分の1に何らかのアレルギー性疾患があるとされています。

Q2. 赤ちゃんがアレルギー性疾患にならないように妊娠中に気をつけることはありますか？

完全に予防する方法は、今の所ありません。かつてアレルギーの原因になりうる食物（ピーナッツ、卵、牛乳など）を制限することが発症予防に有効であるとされた時期がありますが、現在はこの考え方に否定的で、栄養面でのデメリットが大きいためお勧めできません。妊娠中はバランスの良い食事を摂ることが重要です。一般に妊娠期を農村部で過ごした方が工業地帯や都市部で過ごすより子供のアレルギー性疾患の発症率は低いとされています。その理由の一つとして、ダイオキシン、水銀などの化学物質が胎児の体内に入ることが、生まれた後の赤ちゃんの免疫機能の発達に影響を与えられていると考えられています。化学物質濃度には規制基準がありますが、胎児への影響という視点では定められていません。成人や子供の健康には影響がない濃度でも、胎児には様々な影響を与える危険性があり、個人での注意には限界があるものの、今後社会全体の意識が高まることを期待したいです。その他、妊娠中の喫煙（受動喫煙を含む）や妊娠中の抗生物質の使用は、出生後のアレルギー性疾患の可能性を高めるとされています。病気の治療に必要な抗生物質まで控えることは避けるべきですが、安易に薬に頼ったりしない姿勢は大事かもしれません。また、プロバイオティクス（乳酸菌、ビフィズス菌など）摂取が有効であるという意見が近年ありますが、否定的な研究結果もあり、はっきりした結論は出ていません。

Q3. 赤ちゃんが生まれた後、アレルギー性疾患にならないように気をつけることはありますか？

栄養に関して、アレルギーの面からだけ言えば、生後4ヶ月までは母乳のみを与える（母乳栄養を行う）事が望ましいとされています。ただ、赤ちゃんにとって母乳が足りないなど、人工乳が必要なことも多く、そうした時、特に上の子や両親にアレルギー性疾患がある場合は、低アレルゲンミルクを選択するとよいという意見があります。離乳食は4ヶ月までは与えない方がよいとされていますが、一方で、アレルギーの原因になりうる食物の開始を極端に遅らせる事が、発症予防に有効でないばかりか、かえって発症しやすくなる危険性もある、とも言われています。授乳中の母親に関してはいろいろな意見がありますが、一般的には食事制限すべきでないと考えられます。離乳食開始前の赤ちゃんに皮膚炎があるとその皮膚の傷からアレルギーの原因物質が体内に入ることにより、アレルギー性疾患が発症するという説があります。そういう意味で、赤ちゃんのスキンケアは大事かもしれません。その他、ダニやカビが発生しないように室温や湿度に気を

つける、ネコの飼育は避ける、ということも有効とされています。もちろん、両親の喫煙は明らかに発症率を上げますので控えるべきと思われます。

両親ともにアレルギーの場合、その子どもの約50%に、一方がアレルギーならば約30%の子どもにアレルギーが出現すると報告されています。両親にアレルギーがなければ、子どもにアレルギーが出現する確率は約10%にとどまり、こうした高い遺伝率もあって、完全にアレルギーを予防する事はほぼ不可能と考えられ、神経質になり過ぎぬ様、できる範囲でしっかりと注意することを心掛けていくとよいでしょう。



「快適で心温まる医療」をモットーとするセブンベルクリニック。笑顔でお迎えいたします。



エコー健診では赤ちゃんの立体的な動きを動画で見ることが最新の「4D」を設置。診察室も広いので、ゆったり先生とお話できます。



ゆったりとしたソファが配置され、明るいイメージの待合室。クラシックが流れて優雅な雰囲気です。



陣痛室と分娩室が一体化された「LDR」も3部屋完備。明るい室内は落ち着いた内装にまとめてあります。



全室バス・トイレ付の完全個室型の病室も16部屋完備。当院専任シェフによるお食事にもご期待下さい。



マタニティビクスやマタニティヨガの教室を開催するなど、産前・産後のケアにも力を入れています。

院長 ● 野村 誠二 Seiji Nomura, MD

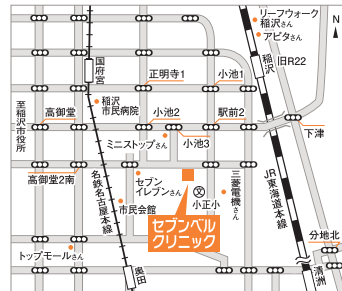
【略歴】

昭和61年名古屋大学医学部卒業  
名古屋大学大学院医学研究科修了  
フランス国立衛生研究所留学  
名古屋大学産婦人科准教授



【専門】

周産期、婦人科腫瘍、更年期、産婦人科内分泌  
日本産婦人科学会認定専門医、母体保護指定医  
日本婦人科腫瘍学会暫定指導医、日本内分泌学会専門医



スタッフ募集! (詳しくはホームページをご覧ください。)

募集職種 助産師・看護師・薬剤師 (3種とも常勤・パート募集)

応募先

〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-19-5 FLEZIO LA8F 医療法人 葵鐘会 採用担当 係

履歴書郵送または、当院HP上でエントリーください。

まずは面接だけでも結構です。お気軽にご応募ください。履歴書は面接の目的以外に使用することはありません。また許可なく第三者に開示することはありません。 ※面接は稲沢市内で行います。

産婦人科 TEL 0587-33-7877

産婦人科診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~12:30 (受付 8:30~12:00)	○	○	○	○	○	※1 外来
午後診 17:00~20:00 (受付 16:30~19:30)	○	○	○	○	○	

※当院には365日24時間必ず産婦人科医が常在しておりますので、分娩の方はもちろん、急に具合が悪くなった方は、上記時間以外でもいつでも診療致します。まずお電話にて確認ください。  
※1:女医外来があります。  
※急患の方を除きまして、予約が優先になりますので、初診の方もできる限り電話で予約をお願い致します。

産科・婦人科・小児科・麻酔科  
セブンベルクリニック

稲沢市小池4丁目122番地  
P 120台完備 (産科70台・小児科50台)

セブンベルクリニック 稲沢市 検索

便利な携帯サイトはこちら

http://www.sevenbells.jp/

媒体番号 1101

小児科 TEL 0587-33-7888

小児科診療時間	月	火	水	木	金	土
午前診 (一般外来) 9:00~12:00 (受付 8:30~11:30)	○	○	○	○	○	※1
午後診 (予約外来) ※2 13:30~16:30 (受付 13:00~16:00)	慢性疾患	慢性疾患	予防接種	1ヶ月健診 整形外科 小児心身	慢性疾患	慢性疾患 乳幼児健診
夕診 (一般外来) 17:30~20:00 (受付 17:00~19:30)	○	○	○	○	○	

※小児科の患者様は診療時間のみ対応となりますのでご了承ください。  
※1:土曜日は第1・3・5土曜日に診療を行います。第2・4土曜日は休診となります。  
※2:平日午後診療は予約制です。